



デジカメセッションに参加する？！

氷見市立窪小学校 荒屋 夕香

はじめてこのセッションのことを話したとき、すごく喜んだ子供とそうでない子供がいた。喜ぶというのは他の学校の人とやり取りができることに心を動かしたから。そうでない子供は、パソコンの操作上、苦手意識が強く、自分ではできないのではと不安を感じたから。クラスで話し合っていくうちに、その不安は、期待へと変わっていった。



デジカメセッションはなんだか楽しそうです。写真をつなげていくということは、今まで私たちがいろいろなところで撮った「とっておき」の写真が役に立つということだと思いました。例えば、蝶の写真の次は・・・、地球の写真の次は・・・と考えると、もうやるのが楽しみです。これからもたくさん写真を撮りたいです。 みこと

セッションの写真を見ていたら、いろいろなものに似ているような気がして、つなげていくことができる写真がいっぱいあるとわかりました。たく

デジカメセッションの様子を見て、みんながいろいろな写真を撮っているのだなと思いました。すごくやってみたいです。こんなにすごいものがどこにあるのか、いろいろなところへ出かけて探してみたいです。 ひでもと



はさみの写真から、何枚もつながっていて、いろいろなものがその形に似ていることがわかりました。身の回りには形の似ているものがたくさんあることがわかりました。

せな

夢中になるような気がする！！

子供たちがこれまでに自分の地域に出かけて撮った写真は500枚。その中で「とっておき」なものがこれからこのセッションに登場するはず。何気なく見過ごしているもののなかに、きっと「とっておき」が見つかる。セッションの一つ一つの写真のイメージにつなげていくという新しい目当てができた子供たちは意欲満々。自分たちの地域に出かけて、がんばろう。

いろいろな人の写真を見ていたら、また他にもいい写真が見つかって、いっぱいっっぱいつなげていったら、それに夢中になるような気がする。一つのことに夢中になるって、こんなことじゃないかな。 みき